

地域の皆さんと共に考える

まちづくり懇談会

宇都宮市のまちづくりなどについて、地域の皆さんと市長が直接話し合う「まちづくり懇談会」を各地区で開催しています。

今回は、8・9月に開催した第3〜5回の結果（ページ下欄）と主な意見を紹介します。懇談会の詳しい内容は、市ホームページ、または、開催地区の地区市民センター・地域コミュニティセンターでご覧になれます。

☎ 広報広聴課 ☎ (632) 2022



今後の開催予定

回	地区	開催日	会場
9	上河内	平成20年2月8日(金) 午後6時30分～	上河内地域自治センター (中里町)
10	河内	2月14日(木) 午後6時30分～	河内総合福祉センター (白沢町)

地域内公共交通について

意見 地区内のバス路線や便数が年々減少しているため、高齢者などの移動手段を確保することが課題となっている。そこで地域では、平成17年度から宇都宮市で初めてとなる地域内公共交通の確立に向けて取り組んでおり、今年の秋ごろには運行を開始したいと考えている。

地域住民の声を計画に反映させ、利用者増加に向けた検討も行っているが、市でも運行経費などについて協力をお願いしたい。

回答 現在、市内の赤字バス路線については、行政が補助をしながら維持継続に努めています。また、平成18年4月に「宇都宮市生活交通確保プラン」を策定し、市民の皆さんの移動手段の確保に努めています。

今後は、バス路線のほかに地域内交通を充実させ、市内全域を公共交通で移動できるような環境を整備する必要がありますと考えています。地域内交通については、市内第1号として何としても成功させる

ため、地域の皆さんと共に知恵を出し合って利用促進に取り組みます。最終的に運行赤字部分については、市で支拂していきたいと考えています。

文化財の普及について

意見 地区内には多くの文化財が点在しているが、あまり認知されていないのが現状である。

地域では、歴史や文化財を知ってもらうため、地域まちづくり組織内に地域文化資源保全部会を立ち上げ活動しているが、活動を継続的に進めていくため、専門的な立場からの指導や助言などをお願いしたい。

回答 人々の長い営みとともに、はぐくまれてきた郷土の歴史や文化は、かけがえのない財産であり、次の世代に継承するべきものです。

地域の学習会などで地域の皆さんが歴史や伝統文化などを理解することは、郷土愛の醸成につながりますので、地域理解を深めるために職員の派遣や、専門的知識を持った人材の紹介などの支援を行っていきます。

高齢化対策について

意見 当地区では、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増加しているため、地域の社会福祉協議会や老人会が地区をあげて、高齢者が参加できる行事の開催や見守りネットワーク活動などに取り組んでいる。

行政には、いろいろなサービスメニューを提供してもらっているが、情報が住民に届きにくい状況であるので、周知徹底をお願いしたい。また、地域包括支援センターについても、もっと地域に浸透するように働きかけてほしい。

回答 広報紙やパンフレットなど、さまざまな手段で福祉サービスマニエールの周知に努めているところですが、状況に合った情報を素早く得られるような環境整備が重要であると認識しています。

今後とも、地域の民生委員児童委員協議会や社会福祉協議会など各種団体と連携をより深め、地域の皆さんと一緒に地域包括支援センターを浸透させ、さらに活用されるよう努めていきます。